



共同獣医学部学術セミナー

演題: 実験動物の開発および皮膚科学・形成外科学領域への応用、そして今後の実験動物施設の役割

講師: 木村 透(自然科学研究機構 動物実験センター 准教授)

開催日時: 11月26日(火)14:30-15:30

場所: 山口大学連合獣医学研究棟4階大講義室

講演要旨: 実験用ヘアレス犬とニホンザルを対象に、実験動物の開発およびその有用性の研究を進めてきました。ヘアレス犬は体表に被毛を待たない動物で、遺伝様式、一般生理学的性状および皮膚の特性を調べ、皮膚科学・形成外科学領域での有用性を研究しました。一方、ニホンザルは真皮にメラノサイトを有し、ヒトの痣を研究する上で役立つ実験動物です。表皮にメラノサイトを有するヘアレス犬と真皮にメラノサイトを持つニホンザルの応用研究を紹介します。その他として、実験動物医学や実験動物施設の管理技術を説明します。最後に、施設運営の経験やこれから築かなければならない「利用者が研究しやすい実験動物施設」の考えをお話しできればと思います。

問合せ先: 森本将弘(内線5892)